

あたが がつこうせいかつ とく 新しい学校生活での取り組み

6月から再開した学校生活ですが、今までと大きく変わったところもたくさんあります。各学校ではお世話になっている人々への感謝を伝えたり、感染予防の工夫を行っています。

ウイルスバスター隊へ「ありがとう」

放課後に皆さんの学校を消毒してくれていた、しおがまウイルスバスター隊へ月見ヶ丘小学校の二人が感謝のメッセージを贈りました。メッセージを書いた目黒さんと内海さんに話を聞きました。

6月のとても暑い日の放課後、隅々まで消毒作業してくれるバスター隊を見て、すぐに感謝を伝えたいと思い、その場で書きました。

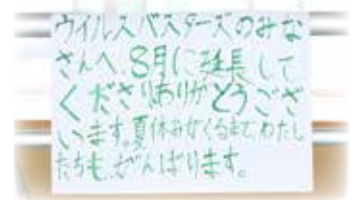


めくろほるや つきみしゅうねん
目黒遥矢さん(月見小6年)



うつみひな つきみしゅうねん
内海陽奈さん(月見小6年)

丁寧に作業している姿を見て、学校に通えるようにしてくれているバスター隊へ感謝を伝えたいと思いました。8月まで延長が決まったときも嬉しくなってもう一度書きました。



感謝をすぐに伝えられた二人はバスター隊の人たちがいるところにメッセージを貼ったそうです。

※写真撮影時、目黒さんと内海さんにお願ひし、マスクを外してもらいました

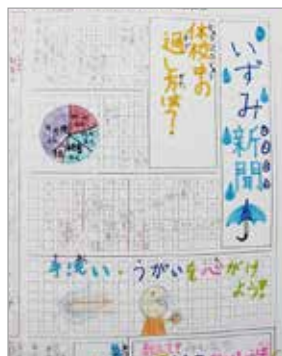


学校生活と感染予防、みんなの工夫 ～一小・玉中の取り組み～

各学校で、感染予防を始めとした元気に過ごせるための工夫をしています。皆さんが行っているたくさんの取り組みや工夫の中から、一小と玉中を紹介します。学校生活の参考にしてみよう！

一小広報委員会「いずみ新聞」

予防対策だけではなく、休校中の過ごし方やみんなのストレス解消法を取材して、学校生活のヒントにしてくれるような記事を書いています。



1、2年生のフロアに掲示する新聞は、ひらがなを多くするなど、学年ごと書き方を変えて伝わりやすくする工夫がされています。学校が始まってから約2週間に1回のペースで作っています。



玉中「生徒総会での工夫」

生徒総会を校内放送で行いました。人との距離を確保しながらの放送や、各クラスの承認を「O」を書いたカードで伝えるなど「密」を避けるための工夫を生徒会の皆さんが考えました。

